

9 MaaSって何だ？

～地域にあったMaaSを考える～

- (1) MaaS (Mobility as a Service, マース) とは？
- (2) 移動をするのに、今はどんな手続きがいるのか？
- (3) MaaSなら、どうなるのか？
- (4) モビリティのMaaSからさまざまなMaaSへ
- (5) 地域の特性や課題から

9 MaaSって何だ？ (1) MaaS (Mobility as a Service, マース) とは？

★地域住民や旅行者一人ひとりのトリップ単位(※)での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。

★観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となる。

(※) 人がある目的をもって、ある地点からある地点へと移動する単位。1回の移動の間であれば交通手段をいくつ乗り換えても1トリップと数える。



MaaS(マース、Mobility as a Service)

- ・マースは直訳すると「サービスとしての移動」です。
- ・自動運転やAIを活用して、マイカー以外の複数の移動手段を最適に組み合わせ、検索・予約・決済までをスマートホンのアプリ一つで一括で行うサービスです。

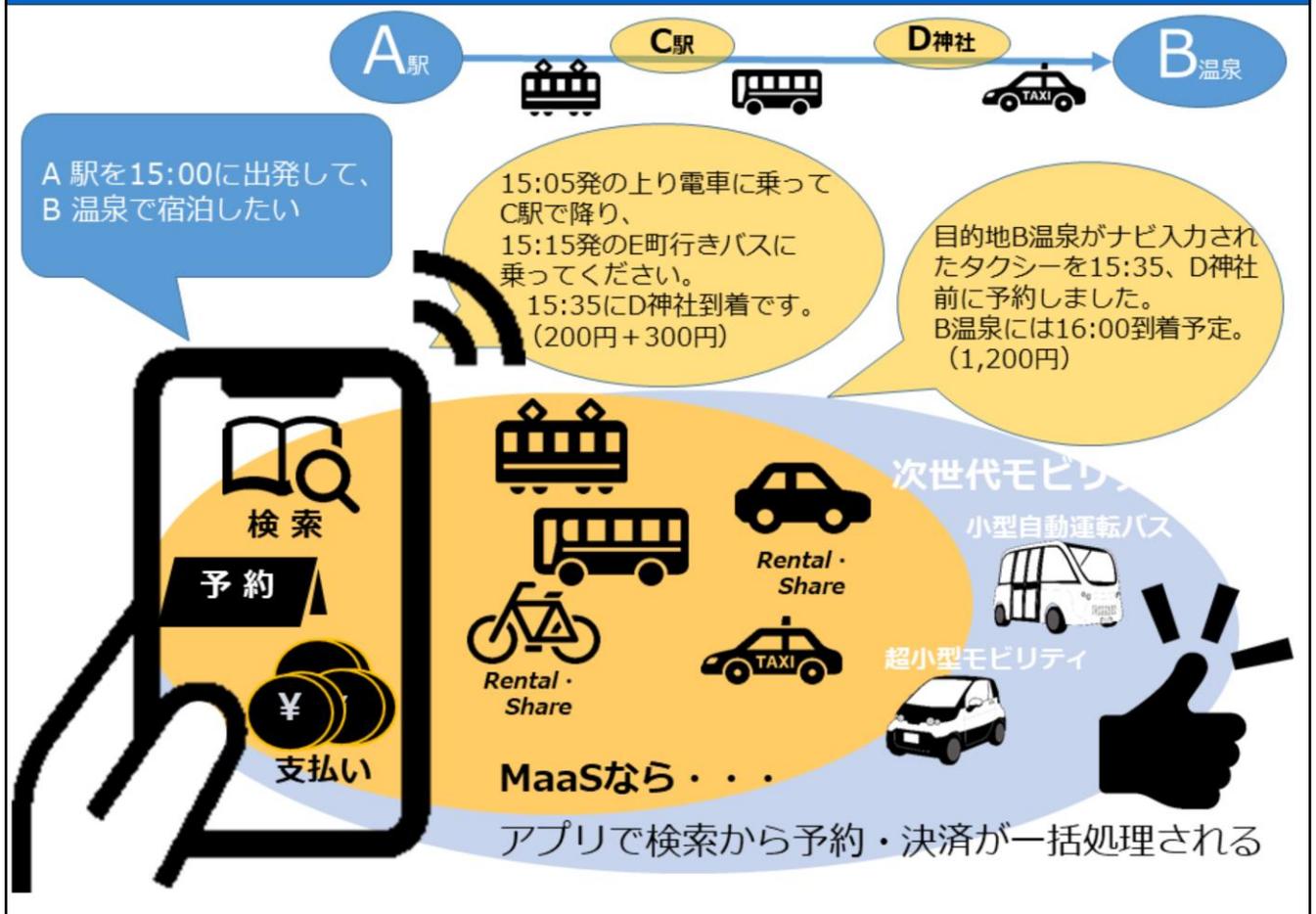
9 MaaSって何だ？ (2) 移動をするのに、今はどんな手続きがいるのか？

現在は・・・ 移動手段は個別に個人で手配、支払いもその都度行う



- ・現在は旅行などを計画するときには自分で目的地までの交通手段を探し①、乗り換えを含めて組み合わせを考える必要があります②。
- ・予約が必要な乗り物を利用するには事前に自分で予約し③、利用ごとに支払いをしなければなりません。

9 MaaSって何だ？ (3) MaaSなら、どうなるのか？

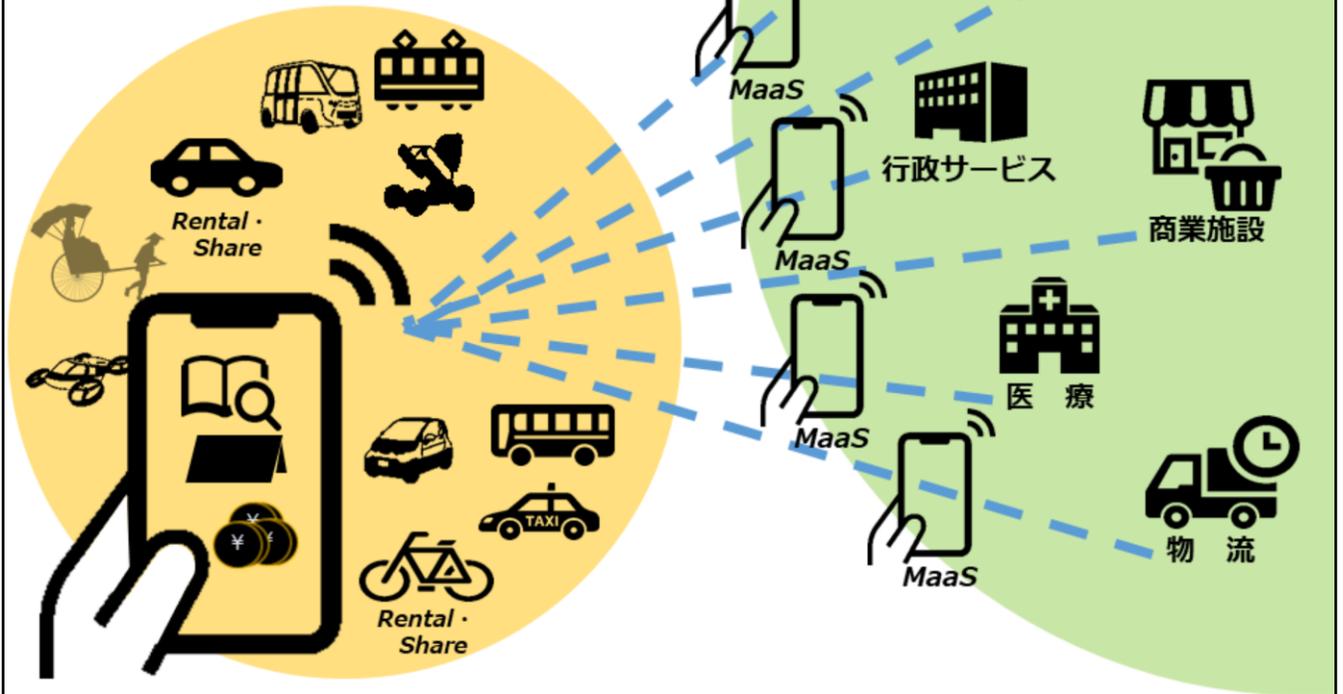


- ・マースなら、アプリに目的地と出発地を入力すれば、その間の複数の移動サービスがまとめて検索され、最適な組み合わせが提示されます。
- ・そこから自分の予定や都合に合わせて選択すると、予約も支払い方法も一括処理され、シームレスな移動が実現します。
- ・さらに、自動運転技術がもたらす次世代モビリティの進展により、移動の最適化がさらに図られることとなります。

9 MaaSって何だ？ (4)モビリティのMaaSからさまざまなMaaSへ

モビリティを中心に様々なMaaSが展開

モビリティのサービスと他の業態・サービスとが連携し、高付加価値化、新たなサービスが生まれる



・マースとICTを活用すれば、移動が移動の目的と一体化して、様々なサービスの高付加価値化、新たなサービスの展開が期待でき、消費行動の変化、拡大やライフスタイルの変化、さらに、まちづくりやインフラ整備など地域のあり方にも影響をもたらす可能性があると言われています。

9 MaaSって何だ？ (5) 地域の特性や課題から

移動に関する地域の特性や課題

地域の特性

- 自家用車中心の交通体系
- 地形や過疎化に起因する分散化した都市構造と、自家用車に大きく依存した移動

地域の課題

- 自家用車非保有者の移動手段の確保
- 物流も含めた地域公共交通の利便性と事業性の悪化。それに伴う交通空白地帯発生への懸念。



★交通の利便性向上、移動と物流の効率化

- 個人負担が削減（自家用車からの転換で送迎の負担や車両維持費などが不要に）
- 環境への影響が低減（二酸化炭素排出量の低減）
- 交通事業者の収入が増加（公共交通への公的負担が軽減）
- 事故や渋滞のない安全でスムーズな交通（交通トラブルの低減）



★地域社会の活性化

- 観光・商業等産業、医療や生活等他サービスとの連携による新たな事業の創出・展開
- 移動と目的の需要に応じて選択または集中投資がされ、サービスが効率化・高質化

- ・この地域の移動は自家用車に大きく依存し、公共交通は採算性の観点から過剰な整備は難しい状況があります。
- ・交通を起点とするモビリティのマース導入とともに、各拠点を結ぶ効率的なネットワークの整備などを通じて、円滑でより便利な地域内移動の実現による生活利便性の向上や、移動による産業の創出、交流の活性化、安全安心の向上などを目指してまいります。